

あすの調布

45th Anniversary



新年明けましておめでとございます。

皆さまには、日頃より大変お世話になっております。昨年度は高橋理事長の下、視野の広い事業を多く展開し、活気のある1年であったと思います。関わっていただいた皆さまに、改めて感謝申し上げます。

本年度は四十五周年という記念すべき一年となります。五年後、十年後に向けて、更に地域で必要とされる調布JCとして在り続けるために、組織としての存在意義や価値を考えていきたいと思えます。

同時に地域の五年後、十年後を考える事や、調布JCの設立からこれまでの歴史を振り替えること等も大切なことと考えています。

現役メンバーの皆さんには、シニアクラブの先輩方と積極的に関わっていただきたいですし、先輩の皆様には様々なご経験や想いを現役メンバーに伝えていただければ幸いです。

また本年度は、これからの飛躍のために足元を見直す一年ともしたいと考えています。定款や運営諸規程の見直し・整備を始め、メンバーの皆さんが生き生きと運動できるための基礎固めに注力していきます。

さらに、本年度は例年以上にメンバーの皆さん同士の交流を活発にしたいと考えています。

青年会議所の良さは、多種多様の価値観や文化と出合い、お互いに切磋琢磨出来ることです。まずはメンバー同士の交流が活発になることが、自分達の成長につながり、組織の力となり、地域の力となると確信しています。入会以降、自分を大きく成長（体重は増えませんが）させていただいた青年会議所と大切な仲間達への恩返しも含め、二〇一五年度が皆様にとって意義のある一年になりますよう、精一杯務めていきます。

どうか、調布JCへの引き続きのご理解とご協力を宜しくお願い致します。

第45代理事長 菅 寛人

理事による本年度の抱負



副理事長 川端宏志

広報交流あすの調布創造委員会兼
総務委員会2015担当

新年明けましておめでとうございます。

本年度、副理事長を務めさせて頂く、川端宏志です。二〇一五年度、調布青年会議所は設立四十五周年を迎えます。

記念すべき年に、「広報交流あすの調布創造委員会」・「総務委員会2015」の二委員会の担当副理事長となります。

担当する委員会議事六名中五名が新任理事という事で私の役割もかなり重要となりますのでしっかりとフォローアップしていきたいと考えております。

また、個人的に本年、年男となります。そしてJ.C入会からはや十年・・・一つ区切りの年となります。

気がつけばかなりの古参メンバーとなっております。しっかりと今までの経験を後輩たちに伝えながら一緒に切磋琢磨していきたいと思えます。

本年もどうぞ宜しくお願いいたします。

副理事長 山田啓二郎

青少年委員会担当

あけましておめでとうございます。

三〇歳で入会した青年会議所も気づけば本

年で七年目。

ここ数年間で経験のある先輩方が卒業し、入会年度も浅く、若いメンバーが増えている現状をしっかりと認識し、まだまだ未熟ではある自分ですが、今までの経験と自分自身の考えをしっかりと伝えていける1年にしたいと思っております。

本年度は青少年委員会を担当する副理事長を拝命いたしました。

東京ブロックで委員長を経験した粕谷委員長を中心に、バラエティ溢れるキャラの濃いメンバーが揃っております。

2つの事業を成功に導けるよう頑張る所存です。どうぞよろしくお願い致します。

副理事長 堀内信宏

恋する中長期委員会担当

シニア・現役の皆様、あけましておめでとうございます。

そして高橋直前理事長、1年間大変お疲れを仰せつかいました。

本年度は管理理事長より副理事長という大役を仰せつかいました。

担当は遠藤大貴委員長が率いる「恋する中長期委員会」ということで、委員長を筆頭に大変優秀なメンバーに恵まれております。

担当委員会は何の問題もなく、理事長から頂いたミッションを念頭に例会・事業を実施し、修練・奉仕・友情というJ.C三信条を年間を通して体現してくれるものと確信しております。

二〇一五年度は、スローガン「自らの確立 これからの飛躍へ」にある通り、まずは自分たちの調布J.Cを見つめ直す。

そして自分たちの存在意義を再確認し、二〇一六年度以降の行動指針を確立する、そのような1年間を目指しているものと理解しています。

管理理事長をお支えることに全力を注ぎながら、私自身精一杯J.C運動に邁進したいと思えます。

それではみなさま、本年もご指導の程宜しくお願い申し上げます。

広報交流あすの調布創造委員会

委員長 佐保田豊太

皆様、新年あけましておめでとうございます。

二〇一三年六月に入会し、あつという間にJ.Cメンバーとしての三年目の年が幕を開けました。

本年度初理事にして委員長を仰せつかることになりました。

不安だらけでスタートした本年度理事会も既に2回を終了し、いつまでも新任理事とお客様気分であることも許されません。

メンバーの皆様、シニアクラブの皆様をはじめ、関係者の皆様お一人一人に名前を覚えていただくべく、しっかりとした運営を行っていきたくと思えます。

本年度、当委員会では調布青年会議所の魅力を様々な形で発信していくことが一つ、それと同時に、新入会員の皆様と一緒に「運動を学び、成長していくことが命題となります。

皆様からご紹介いただいた方、ご自身で調べになってJ.Cの門をたたかれた方、いかなる経緯でご入会いただいた方にも、最初に

ご経験なさる委員会が当委員会御座いますので常に周りの皆様に生かされていることを自覚し、感謝の気持ちを忘れることなく邁進してまいります。

本年度も変わらぬご指導ご鞭撻をいただきますようよろしくお願い申し上げます。

広報交流あすの調布創造委員会

副委員長 大井麗子

新年あけましておめでとうございます。

私は、昨年二月に入会いたしました大井麗子と申します。

入会したばかりの私が、本年度の理事のお話をいただいた時、不安な思いでいっぱいでした。そんな中、昨年度の卒業式でのメンバー代表の送辞を読むことになり、諸先輩方の歩みを知っていき、私も積極的に学んでいこうと決断しました。

私は、本年度の卒業式を担当する理事になっております。

特に今年の委員会は、佐保田委員長の思いで、例年になく新入会員以外に卒業生を4人メンバーでドラフトしました。それに加え、新入会員の方と共に、多くの卒業生、OBの皆様と接触していくこともテーマになっております。

例年以上に卒業を迎えるメンバーと新入会員との架け橋になって、卒業式を盛り上げたと感じております。

私含め、新任理事3人の未熟な委員会で御座いますので皆様のご協力をいただきながらにはなりますが、「頑張っていきたい」と思っています。よろしくお願いいたします。

広報交流あすの調布創造委員会

副委員長 白浜利崇

シニアクラブ並びにメンバーの皆様、あけましておめでとうございます。

本年度、副委員長として理事を受けさせていただきますました。

私は、本年で卒業を迎えます。最終年度もおとなしくいようと思ったのですが・・・。

佐保田委員長より何度も依頼され、断りきれなかった訳ですが、今まであまり携わらなかった委員会運営を最後くらいしっかりと学んでみても良いのではないかと、心から思っております。

特にこの委員会は、私含め卒業生とこれから入ってくる新入会員の皆様とが一緒になって作り上げる委員会です。

理事としての職務を全うしながら、数多くの思い出仲間を最終年度に作りたいたいと思えます。

不慣れた私ですが、より一層のご協力をよろしくお願い申し上げます。

総務委員会2015

委員長 鳩山隆史

皆様、新年明けましておめでとうございます。

本年度、総務委員会2105の委の委員長を務めさせていただきます。鳩山隆史と申します。

二〇〇九年に入会させて頂いてから、早六年。七年目を迎えたこの年、副委員長経験のな

い中、委員長という大役の声がかかり、「大変だろうな、仕事に少なくとも影響しそうだな、1年間務められるのか？」などメンバーの皆様が思うだろう事を自分も当然考えて非常に悩みました・・・。

そんな中、自分が理事を受けた理由はかなり開き直りに近いものでした。

それは委員長を受けたからには自分なりに、自分らしく、JCの理事という事に臆することなく楽しんで委員会運営に取り組む事。

また自分が一年間務めることが出来たらば、「JCの理事を受ける」という事にハードル高いと思う固定観念があるメンバーがいるのであれば、いい意味で「ハードルを下げたい」というか「壊す」こと。

以上を目標に苦手な総務委員会を素晴らしいメンバーと共に支え、支えられ、1年やっていきたいと思っております。

総務委員会2015

副委員長 増田健治

新年明けましておめでとうございます。

入会5年目にしてようやく、総務系の副委員長として初めての理事を務めさせて頂くことになりました。

総務というLOMを下支えする縁の下の力持ちといったイメージをお持ちの方が多くと思いますが、今年度スローガンにあります「自らの確立」という部分で、組織を内から強くするという大きな役割を担っていると考えています。

一人の百歩よりも百人の一步、次年度以降

この組織が更なる「飛躍」をしていくためにも、委員会メンバーはもとよりLOM全体をしつかりと巻き込んで、調布青年会議所「自らの確立」に貢献して参ります。

45年続いている組織の理事であるという自覚を持ち、一年間青年会議所運動に邁進していきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

総務委員会2015

副委員長 志田卓磨

皆様、新年あけましておめでとうございます。

二〇一五年度は、管理部長が掲げる「組織の存在意義や価値を改めて確認し自らを確立する事、そしてこれから先も地域に必要とされ続ける組織として大きく飛躍していく事」を目指すべく、鳩山委員長を中心に「新春地域懇談会」「総会」「EPO管理」「議案書チェック」「発送物作業」と一年間を通して、パワフルに活動して参ります。

そして、何よりJCメンバーの「絆」を一番に考え、縁の下で支えるぞ！という意気込みを持って、自ら行動して発信していく委員会をメンバーと共に作り上げていく所存でございます。

一年間どうぞ、宜しくお願い申し上げます。

青少年委員会

委員長 粕谷洋亮

あけましておめでとうございます。

本年度、青少年育成委員会の委員長を務めさせて頂きます。

本年度、青少年育成委員会では5月にわんぱく相撲、十一月に商工会青年部と合同で青年経済人会議を担当させて頂きます。

同期入会の一志浩平副委員長、入会3年目の井上一格副委員長とJC歴の決して長く無いメンバーですが、山田啓二期副理事長の力を借りながら、1年間頑張つていきたいと思えます。

特にわんぱく相撲は青少年育成委員会だけの事業でなく、調布青年会議所の全体事業です。

メンバーの皆様の協力を頂きながら、より良い事業にしていけたらと思っています。

調布青年会議所を卒業されたシニアクラブのメンバーの方々におかれましても、例年同様の、のぼり協賛などご迷惑をおかけいたしますが、変わらぬご支援を賜れば幸いです。

昨年、東京ブロックの出席でご迷惑をおかけした分、本年度、精一杯頑張つていきます。

青少年委員会

副委員長 一志浩平

新年、あけましておめでとうございます。新春のお喜びを申し上げます。

昨年は初の理事(まち委員会・副委員長)となり、何もわからない中での理事としての活動でしたが、皆様のご支援もあり一年間任

務を全うすることができました。

青年会議所のメンバーをはじめとする関係者及びOB・シニアクラブの皆様にはこの場を借りて御礼申し上げます。

本年も青少年委員会・副委員長として、伝統ある・わんぱく相撲・を成功させるべく、また一年間を通じて行われる例会に積極的に関与し、公社調布青年会議所の発展に貢献できますよう努めて参ります。

皆様のご健勝とご多幸をお祈りするとともに、本年もより一層のご支援ご指導の程、宜しくお願い申し上げます。

青少年委員会

副委員長 井上一格

明けましておめでとうございます。

私は先月十二月に初の長女が生まれ大変にぎやかな年末年始でした。

昨年は、メンバーの皆様には大変お世話になりました。特にわんぱく相撲や十一月例会ランニングバイク大会では皆様の多大なご協力のおかげで無事成功することができました。

褒章では最優秀グループ賞もいただき、感謝しております。

今年初の副委員長になり、委員会を引張る側になりました。立場が変わり難しさを感じていますが、自分を選んでいただいた委員長や承認していただいた方に成長していく自分を見せたいと思います。

誠心誠意頑張りたいと思いますので本年も変わらぬご支援をどうぞよろしくお願い致します。

恋する中長期委員会

委員長 遠藤大貴

新年あけましておめでとうございます。恋する中長期委員会委員長の遠藤です。

今年には調布市政施行60周年に加え、われわれ調布青年会議所も45周年を迎えることになりました。

私達の委員会では調布JCの立ち位置を改めて認識し、50周年、60周年に向けてのあるべき姿を委員会でも導き出していきます。その描いたあるべき姿は45周年式典の際にご報告をさせて頂くこととなります。

昨今の調布JCは対外事業が多く、様々の事業展開をしてみましたが、二〇一五年度は自分たちを見直す、良いきっかけとなる年度になることを期待しています。

委員会名がキャッチーではありませんが、委員会で実施する内容が重たい分、名称をやわらかく覚えやすくしました。

調布に改めて恋するという意味も含んでいます。

1年間、職務を全うしてまいりますので、ご支援ご協力をお願いいたします。

恋する中長期委員会

副委員長 遠藤晃弘

あけましておめでとうございます。

「今日、私たち青年会議所は、今の調布に本当に必要とされているのでしょうか。」謙虚でストイックなこの言葉に共感し、見えな

と願い、理事を引き受けました。

入会から3年が経ちましたが、常に、心の中にあつた疑問があります。「この集団はいつたい何もので何がしたいのだろう(かっこわるい)」でした。

しかし、そんな集団に自分が入ろうと決意したことも事実です。

この集団には他にはない。何か。あると感じています。

5年後と言えば東京オリンピックが目の前までやってきています。その頃にどんな集団であり、どのように明るい豊かな調布づくりに貢献できているのでしょうか。

もやもやしていますが、何か。を磨いていく任務だと心に命じて、動いてみます。委員会名のおり、まずはこの集団に恋するところから。です(自戒の念を込めて)。

恋する中長期委員会

副委員長 境屋奈央子

皆様、新年あけましておめでとうございます。本年度、恋する中長期委員会の副委員長をさせて頂きたく境屋奈央子です。

二〇一四年度は、褒賞にて最優秀賞をいただいたのですが、三月例会の「咲かせよう!調布さくらプロジェクト」をはじめメンバーとしてシニアクラブの皆様のご協力があったからこそだと心より感謝申し上げます。さて、本年度初めての理事として、今度は委員会を運営していく訳ですが、日頃から思っている私の想いは、皆様を笑顔にしたいということです。

その笑顔を見るためには、私なりの、そし

て委員会としてのしつかりとした準備が必要になってきます。

遠藤委員長と力を合わせ、45周年の節目の年の調布青年会議所を盛り上げていける委員会運営を頑張っていこうと思います。

皆様におかれましては、今後とも変わらぬご協力をいただければ幸いです。

よりしくお願い申し上げます。

専務理事 瀧柳伸央

明けましておめでとうございます。

二〇一五年度の理事役員として承認されて以来、一つ一つ専務業務をこなしていますが、その仕事の多さと細かさになかなか慣れず、いまだに苦労しています。

本年度は調布青年会議所設立45周年という節目の年です。調布青年会議所に入会して5年が経ち、青年会議所の良いところ、悪いところ、できること、できないこと、様々なことが見えてくるようになりました。

今までお世話になってきた先輩方が次々と卒業され、いよいよ人に頼るばかりではなく、自分自身がメンバーを引っ張っていく番になったのだと改めて自覚するとともに、この節目の年に、これまでの行動を振り返り、次の世代まで生かしていくことのできる方向性を示していきたいと思えます。

本年度も宜しくお願い致します。

副専務理事 渡邊涼介

明けましておめでとうございます。旧年度中は、皆様に大変にお世話になりました。

本年度は、菅理事長を支える瀧柳専務をさらに支える副専務として、運動に関わりま

できる限り時間を確保し、書類作成を中心に、調布青年会議所の運営を支えていきます。

また、本年度は、定款等の改定も予定されていますので、公益社団法人として適切な内容にできるよう、尽力していく所存です。

専務室として、より良い調布青年会議所を作りあげていきたいと思えますので、諸先輩方、会員の皆様におかれましては、運営などについて、お気づきになった点がありましたら、お伝え下さい。

本年度もよりしくお願いいたします。

財務担当理事 畑野政大

皆様、あけましておめでとうございます。

本年度財務理事を務めさせていただきました、畑野です。

今年度は、理事初体験の方が数多くいます。自分自身、理事は四年目となります。

そんな中で過去の経験をいかし、しっかりと初めての理事の方をフォローし、青年会議所が進むべき方向性を示せればと思えます。

理事会では公益社団法人という立ち位置を深く考え、予算面から青年会議所としての事業がしっかりと行われていくかチェックしてまいります。思いますのでどうぞ一年間よろしく申し上げます。

監事 小笠原長武

明けましておめでとうございます。今年もどうぞよろしくお願いいたします。

今年度は二年任期の二年目ということで、昨年に引き続き監事を務めて参ります。

正副や財務など青年会議所の中核を担う役職を経験しないまま務めた一年目の任期では、監事の職務はどういったようなものか、あるいは調布青年会議所に監事として貢献できることはどういったことなのかということを探りながらの一年になりました。

二年目の本年は昨年の経験を踏まえ、反省すべきことは反省し、得られた知識を生かし、職を全うして参る決意でございます。

また二〇一五年は私にとつて現役最後の年です。

残り一年、菅理事長のもと調布青年会議所の一会員として、明るく元気に楽しみながら過ごして参ろうと思っております。どうぞ皆様どうぞよろしくお願い申し上げます。

監事 前村久美子

新年あけましておめでとうございます。

昨年から引き続き監事という大役を拝命しました。

監事というのは理事ではなく役員という位置付けであり、組織を客観的な目で見て必要なことを皆さまにお伝えするという役割があります。

組織の中にながらにして客観的な視点を

持つということの難しさを痛感した昨年一年間ではありましたが、これまでのLOMでの委員長・副理事長の経験、また、〇九年から十三年まで毎年日本JICもしくは東京プロック協議会に出席をさせて頂いた経験を活かし、調布JICが公益社団法人の名にふさわしい組織であり続け、そして価値のある運動を行っていくために微力ながらお力添えをさせて頂きたいと思っております。

一年間よろしくお願い致します。

直前理事長 高橋裕二

旧年中はお世話になりました。本年もよろしく申し上げます。

「旧来の方法が一番いい」という考えを捨て、「できない」と言わずにやってみよう。

どこかで聞いたセリフですが、私の大事にしている言葉です。

過去の延長線に今があるなら、明るい豊かな社会を作るのは今この時です。

また今年もみんなで素晴らしい一年にしましょう。



スローガン

自らの確立 これからの飛躍へ

基本方針

- ◎自分たちの足元を見直し、生き生きと運動できる組織を目指します。
- ◎メンバーひとりひとりが、魅力あるJayceeとしての成長を目指します。
- ◎地域に対して、広く効果的に青年会議所の魅力を発信します。
- ◎5年、10年先の調布を見据え、自分たちの向かうビジョンを策定し、確立します。

全体事業

○45周年記念事業

○わんぱく相撲調布場所

広報交流あすの調布創造委員会

恋する中長期委員会

- 広報についての調査研究、例会の開催
- シニア合同例会の開催（共益事業）
- 卒業例会・納会の開催（共益事業）
- 調布JCの魅力を発信できる媒体の調査・研究・発信
- あすの調布の発行
（年数回・紙媒体および電子媒体）
- 新入会員のフォロー、Jayceeとしての育成
- 理事会議事録作成支援

- 調布のまち・調布JCに関する中長期計画の策定
- 中長期計画について意見抽出・中間報告の場となる例会の開催（公益事業）
- 中長期計画の披露・発信
- 周年記念事業の実施（公益事業）
- 定款の改訂
- 運営諸規定等の改訂

総務委員会2015

青少年委員会

- 新春地域懇談会の開催（共益事業）
- 総会・臨時総会の開催
- 事務局整理、管理
- 会員名簿作成、管理、更新
- 発送物の発送
- 理事会議事録作成
- OHPの改善・管理・更新

- わんぱく相撲調布場所の開催（公益事業）
- 青年経済人会議の実施（公益事業）

会員拡大戦略室

専務理事・専務室

- 会員拡大戦略全体会議の開催
 - ・入会候補者の発掘、情報管理
 - ・入会候補者への入会勧誘実施
 - ・会員拡大戦略会議の開催
 - ・異業種交流会の開催（公益事業）

- LOM運営に関する事項
 - ・理事会、スタッフ会、正副会議の運営
 - ・総会の運営補佐
 - ・財務管理
 - ・会員管理
 - ・JCI、日本JC、関東地区、ブロック事業に関すること
（京都会議、全国大会、サマコン、ブロック大会、会員会議所会議等）
 - ・他団体との連携に関すること
（共催、後援、予算執行、連絡調整など）
 - ・東京都へ公益法人についての事業申請、報告
 - ・出向者等の連絡と管理・対応
 - ・定款、運営諸規定の改訂補佐
 - ・褒賞申請補佐（日本JC、ブロック）
- 福祉まつりへの参画

公益社団法人調布青年会議所 2015年度 組織図

総 会

監 事 小笠原長武 監 事 前村久美子

理 事 会

直前理事長・会員拡大戦略室長
高橋 裕二

理事・会員拡大戦略室員：19名
正副：7名

理 事 長
菅 寛 人

副理事長
川端 宏志

副理事長
山田 啓二郎

副理事長
堀内 信宏

専務理事
瀧柳 伸央

広報交流あすの調布創造委員会
委員長 佐保田 豊太
副委員長 大井 麗子
白浜 利崇

総務委員会2015
委員長 鳩山 隆史
副委員長 志田 卓磨
増田 健治

青少年委員会
委員長 粕谷 洋亮
副委員長 一志 浩平
井上 一格

恋する中長期委員会
委員長 遠藤 大貴
副委員長 遠藤 晃弘
境屋 奈央子

専務室
副専務理事 渡邊 涼介
財務担当理事 畑野 政大

運営幹事 峯水 延浩
会計幹事 後藤 文誉

運営幹事 宮澤 学
会計幹事 富沢 進太郎

運営幹事 加園 丈晴
会計幹事 新田 朋彦

運営幹事 山田 強
会計幹事 薄井 麻希子

委員 相嶋 子
小田井 清充
山木 勝秀
三山 友反
崎 章裕
(新入会員)

委員 岸 祐輝
齋 定之
高 幸子
垂 秀和
根 幸祐
本 原 祐
宮 慎太郎
桃 谷 慎太郎

委員 井上 志
加藤 耕
佐藤 優
高 隆
島 浩
西 居
蓮 村
原 井
頼 島
俊 剛
宏

委員 石川 宏
小清水 泰
戸水 達
中井 宗
林 茂
横川 宗
米 尚
山 力

公益社団法人調布青年会議所 2015年度 事業計画予定表

月	日	事業	担当
1	12 14 22~25	◇東京ブロック賀詞交歓会(立川) ★例会(新春地域懇談会の開催) ◇京都会議	専務理事・専務室 総務委員会2015 専務理事・専務室
2	19	★例会(通常総会)	総務委員会2015
3	19 22	★例会(中長期策定に向けた例会の開催) ◇日本JC総会(横浜)	恋する中長期委員会 専務理事・専務室
4	17~19	★例会(地域へJCの魅力を発信する広報を考える例会の開催)	広報交流あすの調布創造委員会
5	10	★例会(わんぱく相撲調布場所の開催)	青少年委員会
6	7 11~14 18 28	◇東京ブロック大会(町田) ◇ASPAC(コタキナバル) ★例会(中長期策定に向けた例会の開催) ◇わんぱく相撲東京都大会(日野)	専務理事・専務室 専務理事・専務室 恋する中長期委員会 青少年委員会
7	18~19 26	◇サマーコンファレンス(横浜) ★例会(シニアクラブ合同例会の開催)	専務理事・専務室 広報交流あすの調布創造委員会
8	21	★例会(異業種交流会)	会員拡大戦略室
9	8 24~27未 定	★例会(臨時総会) ◇全国大会(八戸) ◇関東地区大会(三浦)	総務委員会2015 専務理事・専務室 専務理事・専務室
10	14 27	★例会(45周年記念事業) ◇東京ブロックFarewell party	恋する中長期委員会 専務理事・専務室
11	3~8 未定 未定	◇世界大会(金沢) ★●例会(青年経済人会議) ◇ありがとう関東地区	専務理事・専務室 青少年委員会 専務理事・専務室
12	4 6 13	★第一例会(臨時総会) ○参画(福祉まつり) ★第二例会(卒業例会)	総務委員会2015 専務理事・専務室 広報交流あすの調布創造委員会

※例会の日程は理事会審議時に確定いたします。

★印は(公社)調布青年会議所の例会(年13回) ●印は(公社)調布青年会議所の共催事業(年1回)

○印は(公社)調布青年会議所の参加・参画事業(年1回) ◇印は(公社)日本青年会議所(JCI・関東地区・東京ブロックを含む)の事業

シニアクラブより

新春にあたり



調布青年会議所シニアクラブ
会長 秋沢淳雄

あけましておめでとうございます。
新年を迎え、皆さんはどのような気持ちで過ごされましたでしょうか。シニアクラブ会長として皆様へご挨拶申し上げます。
私は、新年を迎えるに当たり無事に一年を終え、「感謝の気持ち」で過ごすことにしています。

感謝の持つ「力」はとても大きなものです。今、自分ができる最善を他者に尽くすことで相手との感謝の人間関係を育むことができます。そこには、「有り難う」という言葉があり、これは、「あり難（にく）い」ことが（奇跡）が起こったという意味でもあります。

私は、菅寛人理事長のもとメンバーの皆さんが、一つひとつの事業を感謝の気持ちを持って実践することで多くの感謝の和を広げ、この町、調布が一層より良いまちまちなつながることを期待しています。

最後に昨年1年間は、高橋裕二直前理事長のもとで調布JCとメンバーの皆さんが大きく成長したと確信をしています。
高橋直前のリーダーシップに感謝し、今年1年間の更なる飛躍を願っています。

シニアクラブ役員	
会長	秋沢 淳雄
副会長	日比生信義
	植松 真徳
監査	林 清一
事務局長	宮永 保寿
会計	佐藤 誠

クラブ案内

じゃかいてもクラブ（ゴルフ部） 会長 佐保田 豊太
今年度、じゃかいてもクラブの会長を務めさせていただきました佐保田豊太です。年4回の開催をよいてしております。
ゴルフコンペを通して会員相互の親睦を図る事を目的としております。今年度も皆様のご参加、よろしくお願ひ申し上げます。

バタータ（ラットサル部） キャプテン 遠藤 大貴
今年もキャプテンを勤めさせて頂きます。特に来年はシニアの先輩諸兄との交流の場になるべく積極的に懇親会の回数を増やしたいと考えております。重ね重ねになりますが、フットサルができる方もできない方も参加をお待ちしています。

ポテトクラブ（野球部） 部長 巴山 勝済
野球を通して、会員相互の親睦並びに他LOMとの交流を図る事を目的とします。大会に参加予定。

写真部 部長 宮澤 学
例会・事業を撮影し、記録として保存します。（公社）調布青年会議所の配布物や広報に協力します。

ポイクラブ（サーフィン部） 部長 富沢 進太郎
おおよそ月に1度の練習を通して会員相互の親睦と健康増進を図る事を目的とします。

プレストクラブ 部長 小田井 清充
音楽を通じて会員相互の親睦をはかる。活動はおおよそ月に一度程度の練習。初心者大歓迎。今年度より新設されました。

積極的なご参加、よろしくお願ひします。

この街と
多くの笑顔に
支えられた。

四十五年目の
ありがとう



2014年度6月例会 ちようふグローバルフェスタ

感謝の気持ちで
飛躍のつばさに

賀正

あけましておめでとうございます。本年は主人が理事長を務めることになりました。前任の高橋理事長をはじめ、そうそうたる歴代理事長の方々の仲間入りという事で不安もあります。皆様に教をを請うことや、不慣れな部分もたくさんあると思いますが、お力添えをいただきたいと思ひます。個人的な意見として、JCは素晴らしい事業を多くされているのに地域の方には存在を認識されていないのが寂しいです。主人が大役を務める1年で青年会議所が地域を良くしようと活動している青年の集団という事を認識してもらえたらと思ひます。1年間よろしくお願ひ申し上げます。

菅 麻可奈



編集部より

本年度「あすの調布」編集を担当致します広報交流あすの調布創造委員会です。本年度、調布JCの広報、発信の為に、様々な企画を行って行く所存でございます。皆、分野外の作業ででない部分が多いかと思ひますが、魅力ある発信の為に委員会でも話し合いながら、新入会員と共に努めてまいります。
メンバー、シニアクラブの皆様には、取材等でご協力を仰ぐことがあるかと思ひますので、何卒ご協力を頂たく思ひます。よろしくお願ひ申し上げます。

2015年度「あすの調布」編集長
広報交流あすの調布創造委員会
副委員長 大井麗子